



第9回 理工系女子応援ネットワーク会議 開催報告



1 開催概要

内閣府は令和7年10月22日(水)に「第9回 理工系女子応援ネットワーク会議」を開催しました。オンラインで開催し、全国から81団体・103名にご出席いただきました。

2 理工系女性人材の育成に係る取組説明、夏のリコチャレ2025報告

内閣府・文部科学省より、科学技術・学術分野における現状と課題、理工系女性人材の育成のため施策について説明しました。その後、「夏のリコチャレ2025」イベント実施団体へのアンケート結果を踏まえて、今年度の振り返りを行いました。「夏のリコチャレ2025」では、129団体により、235のイベントが行われ、約8,300名の方が参加しました。

3 夏のリコチャレ取組事例発表

株式会社 長谷工コーポレーション、さいたま市・株式会社 ARISE analytics、浜松ホトニクス株式会社より、リコチャレの取組事例を発表いただきました。

<実地開催の事例> 株式会社 長谷工コーポレーション

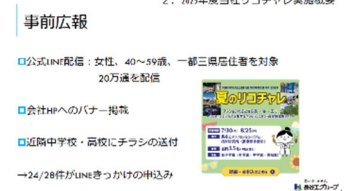
当日は、会社紹介、マンションミュージアム見学、技術研究所にて実験体験の3部構成で実施し、小学生班、中高生班に分けて進め、実験内容を年齢ごとに異なるものに工夫した点を報告いただきました。また、広報については、公式LINE配信、公式HPへのバナー掲載、近隣中学校・高校へのチラシ送付の3種類を実施し、ほぼLINEからの申込で配信当日に定員に達し、応募を締め切った事例を報告いただきました。

<自治体と企業共催開催の事例> さいたま市・株式会社 ARISE analytics

さいたま市からは、さいたま市の公民連携に取り組むための民間提案制度を利用した共催の経緯について報告いただきました。株式会社 ARISE analyticsからは、データサイエンティストの仕事体験等リコチャレの取組概要と課題点等について報告いただきました。今年度が初めての開催ということもあり、集客に苦慮したため、来年度はイベントの周知強化に取り組みたいと説明いただきました。

<オンライン開催の事例> 浜松ホトニクス株式会社

光に関するセミナーや光を活用したワークおよび女性従業員との懇談会を5年連続で開催していることを報告いただきました。また、今年度は社内部署横断のプロジェクトチームにて、光の体験ワーク、理工系女性社員との懇談会等をオンラインで実施したことを報告いただきました。リコチャレを通して、理工系女性が働くことについて情報発信ができ、参加者、開催者、双方にとって有意義なイベントとなったと考えていると説明いただきました。



4 グループディスカッション

本会議には、夏のリコチャレや独自の取組によりイベントを実施いただいている団体、イベントの実施を検討している団体等、様々な団体に御参加いただきました。グループディスカッションでは、イベントを実施した団体が工夫点やノウハウを発表し、イベントの実施を検討している団体からは積極的な質問がなされるなど、参加者の間で活発な意見交換がなされました。